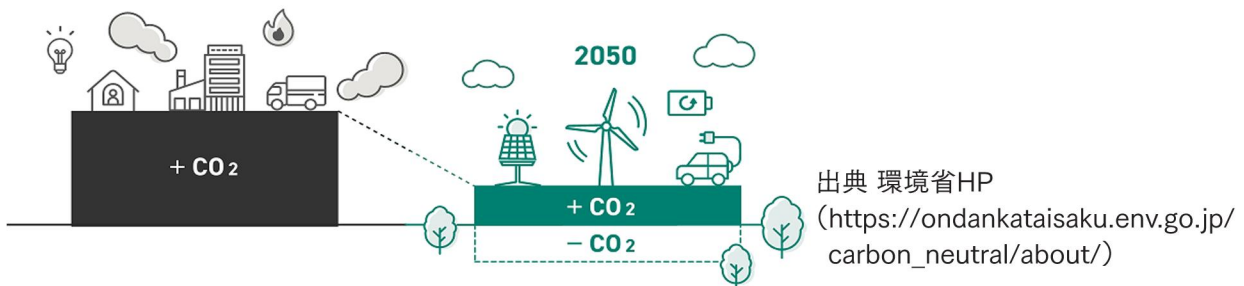


第3回 八雲町の脱炭素を考えよう！ 「カーボンニュートラル」ってなに？



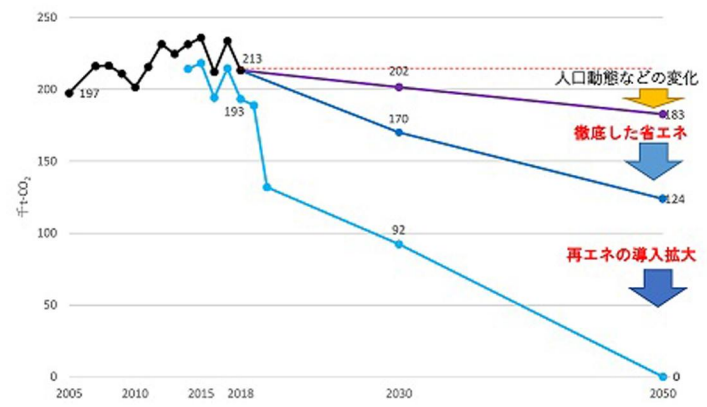
地球温暖化の進行が私たちの身近な生活に影響を与えていることは、前回説明をしました。
この温暖化の進行を食い止める取り組みとして、「カーボンニュートラル」の実現が求められています。では、「カーボンニュートラル」とはそもそもどういったことでしょうか。
カーボンニュートラルとは、全体として二酸化炭素(カーボン)等の温室効果ガス排出量から森林による吸収量・再エネによる削減量を差し引いて、その合計を実質的にゼロにすることを意味しており、地球の温室効果を和らげることに繋がります。



八雲町の排出量は、2018年度を基準に算出すると約213,000トン、森林・再エネによる吸収量・削減量の合計は約74,000トンとなり、排出量の方が139,000トンも多くなっています(八雲町地域再生可能エネルギー導入戦略における推計値)。

この139,000トンの排出量をゼロにするため、今後必要となってくる取り組みとして2つ紹介します。

1つ目は排出量の減少を図るための【徹底した省エネの推進】、2つ目は削減量の増加を図るための【再エネの導入拡大】です。この2つの取り組みを進めることが2050年カーボンニュートラルの実現を目指すうえで、必要となっています。



※次回「徹底した省エネ」について解説を行います。

【問い合わせ先】 商工観光労政課 ☎0137-62-2116

人権擁護委員が 委嘱されました

人権擁護委員としてご尽力された八雲地域の五十嵐力氏、下里晃氏および熊石地域の玉館正幸氏に代わり、7月1日付けで佐々木一也氏、林英也氏、荒谷佳弘氏が法務大臣から人権擁護委員に委嘱されました。

なお、人権擁護委員は、児童・生徒のいじめ、相隣関係などの身近な心配ごとについての相談や人権啓発活動を行っています。

【八雲地域の人権擁護委員】

- 石川 和子 元町
 - 山中 義廣 三杉町
 - 佐々木 一也 末広町
 - 林 英也 落部
- ### 【熊石地域の人権擁護委員】
- 佐藤 玲子 熊石相沼町
 - 荒谷 佳弘 熊石西浜町